児童養護施設で（保育）実習する学生からの問いへのアドバイス

児童養護施設で実習予定のある学生から、アドバイスを求めるメールがありました。

私なりに以下のように返信しましたが、この際にと思い、メル友の先輩保育士たちにアドバイスをお願いしたところ、早速返信をいただきました。

参考までに、ご覧下さい。

２００６．６．２２．　　阿部幸泰

学生からのメール

施設実習で児童養護施設に行きます。

授業の中である先生から、養護施設の子は実習生を試す行動が見られ困らせるような行動や質問が多いと聞きました。

自分なりに対応の方法を考えているのですが、１つ悩むことがあります。

打ち合せの時に、職員の方から子ども達は親に捨てられたなどと話してくるからと言われたんですが、どのような返答をすればいいのか難しいです。

何も言えないのもダメだろうし、可哀相とは言えないだろうし。

阿部さんからアドバイスがあったら、お聞きしたいです。

私の返信

「親に捨てられたなど」と話してくるその子どもの気持ちをまずは受け止めてあげることです。そう云いながらも親を求めているのです。

ですから、例えば、そう云ってきた時、しっかり黙って抱きしめ、頭をなでて上げ、眼を見つめ合い、時に共に泣くだけでいいのでないでしょうか。

心に寄りそうということは、何も言葉かけとは限りませんよ。

あまり実習前にあれこれ策を練らず、その時の状況でその子どもと向き合えばいいと思いますよ。

こうしたこと意外にも迷うことがあれば、遠慮せず職員に聞いた方がいいよ。

云われた通りにするのでなく、その意見を参考にして、あなたなりに考えて子どもと係わり合い、考え直し、試行の繰り返しをするのが実習ですからね。

先輩保育士たちからのアドバイス

①はい、私なりのこたえですが。

「きちんと、真直ぐ相手の話を聞く」です。

無理して答えたり、慰められられることのほうが、傷つくこともあるのではと思います。

少し時間があるならば、自分が誰かに話た時（悩みでも、嬉しかった時でも）どんな風に聞いてもらえたら嬉しいか、試してみるのもよいと思います。

事はちがっても、悩みや聞いてもらいたい話は、誰でもあると思うので、まずは相手の立場になってみるとで、こんな風に聞いてみようと思えるのでは♪と思います。

要は相手の事をどれだけ大切に真剣に考えるかということなのかなと思います。

誰もが通る道！

たくさん悩んで、考えて、自分の至らなさと向きあって、努力して…しっかり相手と向きあえる人になって下さい。応援しています。

とお伝え下さい♪

こんな風に投げ掛けて頂けると、自身の振り返りにもなります。

持ちつ持たれつですね。本当♪

②保育実習について、自分の時の事を懐かしく思い出しました。もう随分昔の事です。

阿部さんのご助言がそのままだと思います。

どこの何の施設にいってもそれぞれ、病気や障害、子供一人一人が抱えているものが違い、養護の場合はそういうようなこころの面であるということだと思います。

転んで泣いている子供への対応も、自分では動くことのできない重度の障害児への関わりも同じように、保育士の人生観等によってもかわりますが、気持ちをうけとめ、寄り添うことに変わりはないとおもうのです。

私の実習は受け入れてもらえず大変苦しいものでした。友人も先生と子供に挟まれてつらかったそうです。

ただ振り返ってみると、受け入れてもらえない体験も十分身になったと感じています。

受け入れてもらえない体験は、養護くらいではないかと思います。

せっかくの実習、思いっきり子供たちに飛び込んでみてはいかがでしょうか。

まとまらなくて失礼しました。

③以前、養護施設で働いていました。

私も阿部先生と同じで、言葉ではなく心から受け止め時間をかける信頼関係を築くのが大切ではないでしょうか。

④保育士をめざす学生さんへ

「子ども達は親に捨てられたなどと話してくるということは、自分に目を向けてほしいからだと思います。

だから、その話を聞くことが大切だと思いますよ。

その話に、辛かったんだろうなぁ～と思えば、辛いよねと話してみてもいいですし、悲しくなれば、泣いていい。こう言われたら、こう言うという答えはないように思います。

その時のそのままの気持ちで相手の話を聞き、その時の気持ちで相手に返していいのではないでしょうか。

そうやって、人との関係を考え、失敗したら、どうして失敗したのか考えればいいように思います。

同じ状況でも、人の気持ちは違いますから。」

こんな返信を考えてみました。いかがですか？

人との係わりって答えがないんですもん。

その時の状況で、相手の気持ちを考えることしかできないように思うからです。

そして、不安な時は誰かに相談する。そして、自分の考えを整理する。ということが大切かと思います。

この学生さんは、不安なことを伝えてきたということだけでも、すごいことだと思います。

⑤私が関わっている子供たちの中にもＴＶドラマに出てきそうなくらい家庭が複雑な子が何人もいます。

経験不足の私が言うのもおこがましいのですが、私も阿部さんと同じ意見です。

「自分の意見を言おう！」と力を入れすぎず、その子の話や気持ちを真剣に聞いて受け入れるだけでも十分な時もあるように思います。

でも私たち職員なら継続的な対応ができますが、実習生だと時間も厳しいかな？とも思います。職員や子供たちに気を張りっぱなしだと思うので、大変ですよね。

子供たちは試したり困らせたり、話の内容や気持ちは様々かもしれませんが実習生に向かって話し、関わりたいという気持ちが必ずそこにはあるという事に気付いてほしいなと思います。

「実習生になら話せる」という事もあると思います。

上手に自分の気持ちを表現できない子もきっといると思います。

想像以上の淋しさや様々な気持ちの葛藤などきっとたくさん抱えているのではないかな？と思います。

是非優しくしてあげてほしいと思います！甘え下手な子も多いと思いますので。

特別何か言ったり、目に見えるような結果を出せなくても、精一杯の気持ちや一生懸命な対応はきっと子供たちも見ていると思いますし、伝わると信じています！

職員と同じ事はできないので、健康にきをつけて今自分にできる事をできるだけやってきてほしいと思います。

長々とスミマセン m(__)m

考えてるうちに気持ちが熱くなってしまいました。

実習は本当に大変だと思いますが、心の準備もできますし、何より阿部さんとその周りのたくさんの人達が応援しているので、自信を持って楽しんできてほしいと思います。

学生からの返信

［施設実習前］

わかりました。ありがとうございました。

まずは子ども達と向き合うことを目標に、頑張ってきたいと思います。

大切なのはしっかり相手の話を聞くことですよね。

焦らないで頑張ってみたいと思います。

失敗を繰り返すことでどうすればいいか分かってくるんですね。

最初から完璧にやろうと思わないで頑張ってきます。

アドバイスをくれた保育士のみなさんにもよろしくお伝えください。

たくさんのアドバイス、本当にありがとうございました。

［施設実習後］

実習も今日で終わりました。

心配してたのが嘘のように毎日が楽しくて充実した 10 日間でした。

試し行動のような困らせる子はいなく、みんなが受け入れてくれました。

先生に相談した子どもへの返答の仕方ですが、やはり仲良くなるにつれ家庭事情を話してくれる子どもが数名いました。

アドバイスを頂いたようにしっかりその子の話を聞き、無理矢理な返事はしないで、思ったままに話をすることができました。

子ども達は聞いてもらえたことを安心したかのようで、中には話終わると「ありがとう」と言ってくれる子もいました。

いつも笑っているけど苦しいものを 1 人 1 人抱えていると聞き、すごく悲しく思いました。

でも、素直になって自分の気持ちをありのまま話せることができて良かったと思います。

この 10 日間、大家族の雰囲気で過ごしてきたので、一人暮らしのアパートに帰ってくると淋しくて仕方がありません。

子ども達の顔ばかり浮かんできます。

たくさんのアドバイス、本当にありがとうございました。

今回私にたくさんのアドバイスをくださった顔も名前もわからない保育士のみなさんの優しさ、私も見習っていきたいとともに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

私も同じ目標を持つ方、何か悩んでることがある方がいれば、役に立てるかわからないけど、言葉をかけてあげたいと思います。

今回の実習では子ども達とのことでたくさんのことを学びましたが、その他に私は本当にたくさんの人に支えられ、見守られていることに気付きました。

阿部さん、アドバイスをくださった保育士のみなさん、施設のおばさん、おじさん、そ

して子ども達。たくさんの支えがあって実習を乗り越えられたのだと強く感じています。

　阿部さんには本当に感謝しています。

［学生の実習報告への先輩保育士からの返信］

⑥わざわざありがとうございます。

　そうですか。良かったですね。

　その方にとっても、子供たちにとっても良い時間になりましたね。しっかり聞いてあげられたこと、伝わってきました。

　本当に子どもさんたちと、素敵な出会いだったのですね。

　知らず知らずのうちに、子供たちからたくさんの愛をもらっていたんですね。

　その愛を、これから出会う人達に波及していって欲しいですね。

　素晴らしい生徒さんですね。

　わからないことを知ろうとし、そしてきちんと向きあって…。

　人生、いろいろとあるけれど、その姿勢が人を育てるのでしょうね。

　私もそうありたいと、改めて思います。

　そして、そんな風に人と人を、ちゃあんと繋いで下さる阿部さんに、脱帽です。

⑦学生さんへ。名前が分からないので、「学生さん」と呼ばせてください。

　実習、お疲れ様でした。慣れない環境でのさらなる勉強はとても疲れたと思います。

　でも、実りある実習になったようで、よかったです。

　きっと、学ぼうとされるお気持ちが強かったのでは？と感じます。

　そして、阿部さんからのメールの返信を見て、素直な人だと感じました。

　いろいろ悩み、相談し、そのアドバイスを素直に受け止め、やってみる！これって大事なことだと思います。

　そして、「ありがとう！」と言われたこと、学生さんの心が通じたのでしょうね。これが一番！

いろいろな人がいます。今回、よかったことでも、違う人にはだめな時もあります。ですから、いろいろな人に出会い、係わり合いの幅を広げてほしいと思います。

また、実習が終わり、ちゃんとメールで報告する。これも大切なことだと思います。

こういうことができる学生さんが素敵だと思いますよ。

学生さんのいいところ、見つけました！これからも心の係わり合いを大切にしてくださいね。

一緒に働ける日を楽しみにしています。

⑧充実した実習ができて良かったですね。

実習生がどう答えるかを探ってくるような問いかけ（あなたの表現を借りれば、「試し行動」）をしてくるのは、養護施設ということで、いろいろなお子さんがいらっしゃるからだと思います。

だから、子どもは大人（実習生）をわざと困らせるのではなく、そういう表現でしか係われないのだと思います。そう育ってしまった子どもたちなのだと私は思います。

だから、どうして、そういう表現で係わってくるのか？ということをこれからも考えてほしいなって思います。読んでいただけただけでも感謝です。

どうしてもこのことをあなたに伝えたいと思い、阿部さんにこのメールの転送をお願いしました。

まだ、他での実習はあるのでしょうか？

いろいろな子どもや人に会って、係わり合いの幅を広げてくださいね。